

とちぎマイスター「工場板金（曲げ作業）」技能の例



「航空機構造板金部品の製造」

うじいえ とおる
氏家 徹 宇都宮市 在住

株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー 製造部 製造企画課 (Tel. 028-684-7131)

現場が求める技能教育と生産性向上の推進

(現在の仕事)

航空機構造板金部品の外形加工・成形・矯正・熱処理を担当している。また技能教育活動講師と生産性向上活動事務局として改善活動に取り組んでいる。

(得意な分野)

薄板板金材料の部品製造を一貫して経験し、工程全体の生産性・品質向上を図ってきた。航空機構造は数mmから数十mの様々な部品で構成されており、まれに高精度の生産設備でも補正できない微調整が生じる。それを人の手で「矯正」作業を行い、品質要求を満たす技能を持っている。

チャレンジを通して成長し、その姿勢を次世代へつなぐ

入社後の配属はマシンオペレーターであり、板金に係わるのはその後で技能面に不安があった。異動先で新しい仕事を覚えるのと並行して、先輩技能者が取り組んでいる技能検定にチャレンジすることで先輩に追いつけ追い越せという気持ちがあったことを覚えている。

自分の担当工程は製造全体のほんの一部に過ぎないが、技能検定にチャレンジし製造全般・人材育成の知識を体系的に学べた事が日々の作業のやりがいに繋がり、仲間と成長できたことが一番うれしい。

若手の皆さんには一見遠回りでも、興味を持ったことに対し積極的にチャレンジして欲しい。私はその環境を整え、後継者を育成していきたい。

